

平成 29 年度

学習支援に携わっている大学生のためのレベルアップ研修会レポート

<http://sapporo-youth.jp/network/>

大学生だからこそ 子どもの貧困問題にできること

2017.5.10

講師 荒井 佑介さん(NPO 法人 PIECES)



レポート

～専門家ではなく、市民という立場でできること～

生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援を行っている大学生ボランティアが「大学生だからこそできること」について学びました。講師の荒井氏は、大学時からホームレス支援ボランティア等に携わりつつ、NPO 法人 PIECES を立ち上げて東京で活動された方で、「勉強したくない」という中学生の言葉やそのときのしぐさをどう読み取り、どのように声をかけるか、といったことについて、豊富な実践をもとに体系化されたノウハウをお話いただきました。また、ボランティアメンバーが一つのチームとしてサポートしていくことの大切さも再確認し、そのための振り返りの手法についても具体的に学びました。

研修内容を生かして中学生とさらに深い関係を築けるようになると、学習活動という枠を超えたサポートの必要性や、中学卒業後も継続的に関わる必要性に気付くかも知れません。大学生の皆さんから「学習支援から一歩進んだサポートを実践したい」という声があれば、さっぽろ子ども・若者支援地域協議会としてもバックアップしていきたいと思えます。

(文責：札幌市若者支援総合センター 松田考 松本沙耶香)

主催 札幌市若者支援総合センター[指定管理者：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会]